

2020年度 木の実会事業報告 ~~(案)~~

2021年4月1日より幼保連携型認定こども園としてスタートすべく、行政への申請等諸手続きや保育帳票様式の精査などに取り組んだ一年となった。

同時に、すべてがコロナ禍での対応となり、感染予防に配慮しながらの業務遂行に苦慮した。役員会についても、6回のうち4回は招集を省略せざるを得なかった。新任の評議員を含め、役職員の懇親を図りたい年度ではあったが、懇親会も中止とした。今後状況を見ながら、**with** コロナを意識しての役員会運営となることと受け止めている。

決算について、木の実保育園拠点で保育士を増員したこと、産前産後休暇及び育児休業の取得職員が大幅増となったこと、この2点により年間ベースで常勤職員4人強の増員となった。さらにベースアップの影響もあり、各拠点で人件費が前年度に比して大きくなっている。

ここ数年懸案事項となっていた木の実西部こども園園舎保全については、具体的な保全計画提案書が提出され、これを参考に今後計画的に保全を進めていく予定である。

1. 実施事業

(1) 理事会 計4回

第1回 2020年 5月29日 (招集を省略)

第2回 2020年11月30日

第3回 2021年 1月20日 (招集を省略)

第4回 2021年 3月31日 (招集を省略)

(2) 評議員会 計2回

第1回 2020年 6月23日

第2回 2021年 2月 2日 (招集を省略)

(3) 役員懇親会

中止

2. 役員人事 (退任・新任該当者なし)

(1) 理事 定員6名・現員6名

(2) 監事 定員2名・現員2名

(3) 評議員 定員7名・現員7名

3. 採用・退職

- (1) 繰入採用者 3名 (正規2名・月給臨時1名)
- (2) 新規採用者 9名 (正規4名・月給臨時4名・時給臨時1名)
*年度途中採用者含む
- (3) 退職者 4名 (月給臨時3名・時給臨時1名)

4. 産前産後休暇・育児休業取得状況

- (1) 産前産後休暇取得者 10名 (前年度5名)
- (2) 育児休業取得者 15名 (前年度7名)

5. 職員処遇改善

- (1) 臨時職員から正規職員への繰入実施
- (2) 育児短時間・介護短時間勤務の推奨 (取得者1名)

2020年度 木の実保育園事業報告 (案)

1. 総括

2019年度末より新型コロナウイルス感染症が全国的に感染拡大し、かつて経験したことのない感染症に、どのような対策が有効なのかも底知れず、4月には緊急事態宣言が発出された。しかしながら発出中も保育園は開園し、3密を避け、手洗いや手指消毒、園内消毒を徹底しながら、保育が必要な子ども達の受け入れを行った。コロナが収束に向かう兆しはなく、1年間を通して感染防止対策に取り組み、予定していた行事も中止や自粛となった。保護者の方には、子どもの送迎を玄関対応にしてもらっているため、友だちと遊んでいる様子も目に入らなかつたり、担任からの朝夕の伝え合いがコロナ禍前のようにできず、日々の子ども達の成長を細やかに保護者に伝えることが難しかったことが反省である。次年度は伝え合いの手段を模索する一方で、行事への保護者の参加の仕方も考えていきたい。

またこども園への移行に伴い、カリキュラム検討会や園内研修の中では、教育的視点からの話し合いを行ってきた。

2. 保育実践の取り組み

保育テーマを「子どもの主体性と保育環境を考える」とし、1年間保育の視点を絞って実践してきた。0歳児から5歳児まで主体性は保育者との信頼関係の上であり、毎日の「〇〇して遊びたい」が自己実現し、その達成感が自信につながり、次のあそびを創り出す力になることが感じられた。年齢が上がるにつれて仲間と一緒にイメージを共有しながら達成感を味わい、次のあそびへと展開していた。子ども達の小さな達成感や時にはクラスみんな一緒に達成感を、保育者は見逃さず次の教材研究へと繋げ、素材や環境の提供が大切であることを実感した。

(1) 0・1・2歳児の保育

- ① ～よく飲み、よく食べ、よく遊び、よく眠る～一人一人の生活時間づくりを基本にしなが、担当保育者との愛着関係が、母親から初めて離れて過ごす子ども達にとっては何より安心することであり、一人一人に寄り添った関わりを大切にしながら過ごしてきた。
- ② 子どもが安心して過ごせる担任保育者がいて、子どもの姿や年齢の発達に合わせた室内外の探索活動や、友だちとの関わりが持てる遊び空間を保障するよう心がけた。四肢を使って体を動かすことを喜ぶ姿、キッチンコーナーで言葉のやり取りから会話になっている姿、散歩先で季節の移り変わりに気づきつぶやく姿などがあり、常に子どもの成長発達に合わせた保育環境の見直しが大切なことに気づかされた。
- ③ 簡単な身の回りのことについては、興味が芽生えた時を見逃さず、時間にゆとりを持ち関わるよう心掛けた。家庭にも呼びかけ、例えばジャンパーの首元のタグにひもを通して輪にしてもらいコート掛けにかけやすく工夫してもらおうことで、自分でできたという満足感に繋がり、衣服の着脱や食事・トイレトレーニングも同様に、大人のゆとりや少しの工夫で意欲的に取り組む姿が見られるようになった。

(2) 3・4・5歳児の保育

- ① 園生活全般において、子どもの意見や思いを聞いたり、クラスでの話し合いで意見交換する場面を多く持ち、自分たちの意見や友だちの意見がクラスの中で活かされることで、自信をもって発表する子が増えてきていると感じる。
- ② 家庭にも協力を呼びかけ、空き箱などの廃材を提供してもらいながら、朝夕いつでも自由に製作できるコーナーを充実させることで、素材や教材を上手く利用しながら、お互いに製作したものから影響を受け合い、作り方を教えてもらったりしながら、異年齢

の子ども同士の関わりも多く生まれ、イメージ豊かな作品が誕生している。

- ③ 3・4・5歳児の異年齢グループでの活動は制限されたが、日常の生活遊びの中では、0歳児から5歳児までが関わり過ごすことを大切に、朝の時間は5歳児女児がお世話しに行ったり、午睡時には0・1・2歳児クラスへ5歳児が入眠のお手伝いに行くことで関係性が生まれ、兄弟姉妹のように園内で関わり合う姿も見られるようになっている。
- ④ コロナ感染対策しながら、秋にはバスで園外保育に出かけ秋の自然に触れ遊び、冬には2階屋上広場で雪遊びをしたり、県民広場やそり滑りにも出かけ、雪遊びを満喫することができた。
- ⑤ 少人数クラスのため、運動会のけやきぐみのフラッグの演技や3歳以上児クラスの劇あそび・2クラス合同の合奏など、全員が一人一役で演じることが多く、行事までの緊張感が行事後は達成感になり、大きな自信に繋がったと感じられる。

(3) 行事实施状況

コロナ禍により自粛・中止となった行事が多かった。

月	行 事
毎月	・避難訓練・身体測定・調理室検便・安全点検・誕生会
4	・辞令交付・お花見散歩・五月人形飾り
5	・母の日お店屋さんごっこ(カーネーションプレゼント)
6	・尿検査(かえで、けやき組)・検便(職員)・内科健診・救命講習・プール開き ・クラス懇談会
7	・七夕まつり・夏祭り(さくら、かえで、けやき、職員)・夏まつりごっこ(全園児) ・お泊り保育・(総合訓練)・かもしかクラブ・木の実ひろば
8	・ママの会・木の実ひろば
9	・かもしかクラブ・木の実ひろば・令和3年度入所申し込み申請書配布・三役会議 ・おはなし会
10	・令和3年度入園面接日・運動会リハーサル・第3回木の実保育園運動会(さくら、かえで、けやき組)・かもしかクラブ・園外保育一天童運動公園(かえで・けやき組)・眼科検診・木の実ひろば
11	・内科健診・耳鼻科検診(3,4,5歳児)・七五三祝い・おはなし会・総合訓練 ・尿検査(さくら組)・検便(職員)・
12	・歯科健診・クリスマスツリー飾り・クリスマス会(ひまわり,さくら,かえで,けやき組)・かもしかクラブ・歯科検診・内科検診・卒園記念写真 ・クリスマスお楽しみランチ
1	・だんご木飾り・木の実ひろば・園外保育—鈴川公園そりすべり(かえで,けやき組) ・園外保育—西公園そりすべり(さくら,けやき組)
2	・節分豆まき・クラス懇談会・松倉とし子童謡コンサート・かもしかクラブ ・ひな人形飾り・令和3年度入園児説明会
3	・ひな祭り・卒園式・卒園を祝う会・けやき組さんとのお別れ会&お別れ給食 ・おはなし会・木の実ひろば

(4) 食育

- ・コロナ禍により昼食で使用する野菜の皮むきや種取りなどは中止とし、クラス単位で野菜栽培から収穫、試食まで体験する活動を行った。
- ・卒園を前にけやきぐみでは人気のあったメニューから、リクエストメニューリストを作成し、栄養士と一緒に栄養バランスを考えた給食献立を提案し実施することができた。

月	子どもの食育活動
春	野菜の苗植え(きゅうり・トマト・ブロッコリー・オクラ・なす)

	お米の苗植え 落花生植え
夏	夏野菜の収穫
秋	落花生収穫
冬	もち米を使ってぼた餅作り

3. 一時預かり（緊急）事業の取り組み

- ・転勤者の緊急一時保育での若干の利用受け入れを行った。

4. 職員研修

- ・コロナ禍により、県内県外の研修会の中止や延期が多く、民保連の定例会や研修会も、年度後半は **zoom** で行われた。
- ・外部研修会に参加できなかったため、年度後半はオンラインでの園内研修を実施し、講師の話を聴いた後グループでの話し合いを行った。

(1) 園外研修状況

月	研修名称・出席人数
毎月	・民保連園長会 ・民保連主任会 ・市合同給食会議 ・民保連3歳未満児研修 ・民保連3歳以上児研修
8	・新任職員研修（1）
9	・絵本とあそぼう（1） ・人材定着支援研修（1）
1	・幼保小研修（1）

(2) 園内研修及び打合せ会議の状況

月	研修・会議
毎月	・三園打合せ会議 ・職員会議 ・カリキュラム検討会 ・保育室環境検討 ・ミーティング(随時) ・三園主任打合・事例検討会
4	・研修リーダー会議・保護者会年間行事検討会 ・園内研修（子どもとの関わりについて）
5	・園内研修（クラスだよりについて事例検討）
6	・お泊り保育打ち合わせ ・園内研修（連絡ノートについて）
7	・救急法 ・夏祭り担当者会議
8	・乳児クラス研修・「言葉・オノマトペについて」講師：渡辺裕子先生
9	・運動会打合せ
10	・クリスマス会打合せ ・前期保育総括会議 ・
11	・クリスマス会打ち合わせ ・園内研修（子どもの表現の理解と援助について・オンライン研修）
1	・園内研修（各年齢の保育について・オンライン研修）
2	・後期保育総括会議
3	・卒園式打ち合わせ会・新クラス会議・新年度会議と環境整備

5. 保護者会活動

- ・コロナ禍のため、年度初めの保護者会総会は書面で開催し、1年間予定していた親子行事も自粛や中止を余儀なくされた。
- ・夏祭りや運動会など大きな行事の前には保護者会四役と協議し、開催の方法を検討し実施するようにした。

月	実施内容
6	・クラス懇談会・4 役会議（夏祭りについて）
7	・夏祭り
8	・4 役会議（運動会・里芋堀りについて）
10	・運動会（役員手伝い）
1	・3 役会議（会計中間報告・2021 年度保護者会行事について）
2	・クラス懇談会
3	・会計監査

6. 危機管理

- ・様々な災害を想定して、避難訓練を毎月実施した。
- ・消防署への通報訓練や総合訓練を2回実施し、非常時に備えた。
- ・近くの大谷教務所への避難誘導訓練も実施し、火災の場合などの緊急避難場所として大谷教務所へお願いすることにした。
- ・プール開き前に、心肺蘇生・AED の講習会を実施し、緊急時に慌てず対応できるようにした。
- ・新型コロナウイルス感染症については、検討すべき事案が発生した時には速やかに対応できる体制がとれるよう三園で情報を共有するようにしている。
- ・コロナ感染予防対策に関するお便りを三園共通で必要に応じて作成し、各家庭に配布した。

7. 地域との連携

- ・地域の子育て中の親子のための「木の実ひろば」は、年間計画では毎月実施予定だったが、コロナ禍の影響で7回の開催となった。また見学者の多い7・8月には園内見学も一緒に感染対策をとりながら3回実施し、新年度入園につながるケースも見られた。
- ・町内回覧を利用し、保育園の子ども達の様子を写真でお知らせしたり、「木の実ひろば」開催の周知を2回行った。

8. 年間運営状況統計

(1) 入所状況

(人)

年齢別		月												累計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
0歳児	前年度	6	9	9	9	10	11	11	12	12	12	12	12	125
	現年度	5	10	11	10	11	12	12	12	12	12	12	12	131
1歳児	前年度	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
	現年度	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	141
2歳児	前年度	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
	現年度	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
3歳児	前年度	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
	現年度	12	11	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	141
4歳児	前年度	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
	現年度	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
5歳児	前年度	10	10	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	130
	現年度	10	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	131
計	前年度	63	66	67	67	68	69	69	70	70	70	70	70	699
	現年度	62	68	70	69	70	71	71	71	71	71	69	69	688
充足率 (%)	前年度	88	92	93	93	94	96	96	97	97	97	97	97	95
	現年度	86	94	97	96	97	99	99	99	99	99	96	96	96

(2) 特別保育利用状況

(人)

		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
延長	前年度	163	164	164	181	130	153	177	158	164	146	155	175	1,930
	現年度	101	120	163	155	152	169	186	175	192	177	168	269	2,027
一時 (緊急)	前年度	0	0	0	0	14	1	0	0	0	0	0	0	15
	現年度	0	0	0	0	0	0	8	0	1	1	0	0	10
一時 (非定型)	前年度	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
	現年度	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15

(3) 育児相談事業

(件)

		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
件数	来所	0	0	7	5	5	10	4	2	0	0	1	3	37
	電話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	7	5	5	10	4	2	0	0	1	3	37

2020年度 木の実西部保育園事業報告 (案)

1. 総括

未曾有の感染症の恐怖にさいなまれた一年のスタートだった。計画していたことがことごとく変更を余儀なくされ、様々な情報が飛び交う中、木の実会3園で情報を共有し、対応策を練ることができた事は、何より心強かった。まずは園児と職員の健康と安全を最優先に、そして、保護者や支援センターの利用者にもコロナ対策の最大限の協力を呼びかけた結果、クラスターの発生や、休園などに至らず無事に一年を過ごすことができ感謝している。コロナ禍に見舞われながらも、新しい生活スタイルを取り入れながら、子どもたちに経験させたい活動を取捨選択して実施したことにより、園生活への喜びや思い出、成長につなげることができたのではないかと思う。こども園移行に向けて園長・事務局・主任保育士・リーダー保育士を中心に定款や人事評価、保育記録や職員体制の見直しもはかり移行も滞りなく完了した。

2. 保育実践の取り組み

今年度の保育テーマ『保育の発信力を高める』

～保護者と共に子どもの成長を喜び合える関係作り～

(1) 0・1・2歳児の保育

- ① 連絡帳の書き方をドキュメンタリー記述にし、個人の様子がリアルに伝わるよう工夫した。また、活動の一部を写真で掲示したことは、玄関対応で園の様子が見えにくくなった部分を補い、保護者に安心感を持ってもらうことにつながった。
- ② 2月に行ったクラス懇談会では、動画を用いて、園生活の一場面を見てもらった。我が子が自分の力でいろいろ取り組んでいる様子を確認でき、成長していることを実感してもらい職員と共に成長を喜び合う時間を持てた。
- ③ 夏祭り、運動会など大きな行事は感染症のリスクを抑えるため、未満児クラスの参加は見合わせた。12月の生活発表会は0歳児のみ保育者と園児で行った。2歳児は単独で同じく平日に保護者の参加のもと開催した。
- ④ マスク生活が続き、保育者が素顔で接することが困難な状況であったが、豊かな言葉掛けや目で伝わる表情を意識し、絵本やわらべ歌などで情緒豊かに接するよう心掛けた。密になる事を避けるということは乳児保育ではありえない事であり、抱っこやスキンシップは必然的に行っていた。乳児たちに不安定な様子など大きな変化は見られなかった。

(2) 3・4・5歳児の保育

- ① 3歳児は、基本的な生活習慣が身に付くよう一人一人のペースに合わせて関わっているが、進級してもオムツが取れない子どもが年々増えている。家庭でのパンツへの移行に消極的な姿勢が見られ、同じタイミングで進めていく事の難しさを感じる。
- ② 3歳以上児クラスになると、連絡帳を通してのやり取りが減り、園からの発信への返答も少なくなってくるが、今年は園だよりや連絡帳を積極的に活用し、リアルタイムでエピソードを載せたところ、「我が子やクラスの子どもの成長や関わりがよく見えた」と喜ぶ保護者の声が届いた。しかし、毎日掲示するホワイトボードやミニ便りなどに目を通すこともままならない保護者もあり、情報発信の難しさを感じる場面もあった。
- ③ 以上児フロアの連携がとてもうまくいき、学年の垣根を越えて異年齢交流を実施することができた。そら組(ままごとコーナー)つき組(ランチルーム)たいよう組(造形の部屋)という目的別クラス環境を3クラスでシェアしながら活用できたのは大きな進歩だ。
- ④ 登山、田植稲刈り、バスハイクなどコロナ禍において実施できない行事もあったが、夏祭りやお泊り保育、運動会、クリスマス生活発表会は入れ替え制や規模を縮小して実

施し、子どもたちにとってはそれもまた新たな楽しみを見出す発見であったと感じる。

(3) 行事实施状況

月	行 事
毎月	・安全点検・避難訓練・身体測定・誕生会・調理室検便
4	・第18回入園式・お花見・畑の種蒔きと苗植え(3,4,5歳児) ・たいよう組クラス懇談会・砂場消毒
5	・お花屋さんごっこ・心肺蘇生救急法講習(園看護師による) ・畑の種蒔きと苗植え(3,4,5歳児)・園庭のミニ水田田植え(5歳児)
6	・尿検査(4,5歳児)・個人面談4,5歳児)・歯科検診・プール開き・内科検診 ・職員検便・かもしかクラブ入会式(3,4,5歳児)
7	・七夕まつり・かもしかクラブ・夏祭り&お泊り保育(園内) ・トウモロコシ, ジャガイモ収穫(3,4歳児)・砂場の消毒
8	・山形市実地監査・プール終了・巡回相談日
9	・以上児視力検査・運動会総練習・運動会・さつまいも収穫(4歳児)
10	・焼きいもパーティー(4歳児)・かもしかクラブ(3,4,5歳児)・園内稲刈り(5歳児) ・防災総合訓練・おやじの会奉仕活動
11	・眼科検診・耳鼻科検診(3,4,5歳児)・尿検査(3歳児)・職員検便 ・園看護師による手洗い指導・梁の清掃
12	・イルミネーション点灯式・ひかり組クラス懇談会・内科検診・歯科検診・クリスマス会・卒園記念写真撮影(5歳児)・巡回相談日・お話会・かもしかクラブ
1	・餅つき会・だんご木かざり・そり滑り(5歳児)・おはなし会(2,3,4,5歳児) ・かもしかクラブ
2	・節分・クラス懇談会・入園説明会・お話会(1・2歳児) ・かもしかクラブ修了式(5歳児)
3	・ひな祭り誕生会・第18回卒園式・梁清掃・お別れ会

(4) 食育

- ・コロナの影響で玄関対応となり保護者が園内に入る機会がなくなったことから、毎日の展示食で子どもの食べているものを知らせることができなかった。その分「お食事便り」で食育活動の様子、リクエストメニュー、子どもの食事風景を発信することを心がけた。
- ・山形の伝統野菜をはじめ、あまり家庭では食べないような旬の食材や料理を園の給食に取り入れている。しかし食べ慣れないことから苦手意識を感じる子どもも中にはいるので、今後、味付けや調理方法を工夫し、美味しく味わってもらえるようにしていきたい。

月	子どもの食体験	
年間	食べたいメニューをクラスで話し合いリクエストして味わう(4,5歳児)	
春	ふきに触れる	わらびに触れてみる
	孟宗に触れる	そら豆のさや取り
	ふきとギンボに触れる	細竹の皮むき
夏	細竹の皮むき	ピーマンの種取り
	山形県産さくらんぼを味わう	かぼちゃの種とり
	とうもろこしの皮むき	
秋	モロヘイヤの葉っぱ取り	こんにゃくちぎり
	かぼちゃの種取り	菊の花ちらし
	きのこほぐし	菊入浸しを味わう
	山形の郷土料理芋煮を味わう	山形県産ラフランスを味わう
冬	冬至とかぼちゃの由来を知り味わう	こんにゃくちぎり

南瓜の種とり 郷土料理納豆汁を味わう もちつき	山形県産野菜を使った雑煮を味わう うるいの浸しを味わう あさつきの酢味噌和えを味わう
-------------------------------	--

3. 一時預かり（緊急・非定型）事業の取り組み

- ・（緊急） 母親の受診のため、また母親が妊娠中で安静が必要なケースで受け入れを行った。
- ・（非定型） 0歳児クラスにて年間を通して1名利用。

4. 地域子育て支援拠点事業の取り組み

- ・ 4月に緊急事態宣言が発令され、支援センターの閉鎖措置が取られた。
- ・ 密を避けるため、午前午後の利用者を5名までとした。

（閉鎖：4月上旬から5月下旬まで 12月中旬から2月中旬まで）

月	実施状況
毎月	・大きくなったかな（身体測定）・お誕生月の子ども対象「手作りカード」
隔月	・なし
4	閉鎖中
5	閉鎖中
7	・七夕製作
8	・手作り玩具製作「魚を作って魚釣りをしよう」
9	・ミニ運動会ごっこ・敬老の日製作・出前保育
10	・絵の具の技法で遊ぼう
11	・足形アート
12	・クリスマスモビール作り・ミニまつぼっくりツリー作り
1	閉鎖中
2	・ひなまつり製作
3	・親子で手形アート・植木鉢にお絵描きしよう

5. 職員研修

- ・ 計画していた外部研修は、コロナウイルス感染症の影響を受け、中止や延期が相次ぎ、思うように職員を派遣することができなかった。後半、リモートによる研修案内が多くあったが、園としてリモート研修を受ける環境が整っておらず参加には至らなかった。
- ・ 感染の小康状態には対面での研修も再開され、参加できるものには出向いて学ぶ事が出来た。

（1）園外研修状況

月	研修名称・出席人数
毎月	・民保連園長会・主任会・看護師研修・給食研修・3歳以上児研修（5月～2月） ・支援センター連絡研修会（6・8・10・2月）・3歳未満児研修（5月～2月）
9	スーパービジョン研修（1）・保育士キャリアアップ研修（1）
10	・保育士キャリアアップ研修（3）
11	・保育所職員研修2（1）
12	・保育士キャリアアップ研修（1）
2	・民保連正副部長会（2）

（2）園内研修及び打合せ会議の状況

月	研修・会議
---	-------

毎月	・3園会議（園長・事務）・3園主任会・パート職員打合せ・職員会議 ・フロアーリーダー会議・未満児ミーティング・以上児ミーティング
毎週	・全体ミーティング
4	・新年度会議・入園式打合せ
5	・かもしかクラブ打合せ・手あそび歌わらべうた伝達講習
6	・夏祭り打合せ・わらべ歌伝達・お泊り保育打ち合わせ
7	・お泊まり保育打合せ・夏祭り打合せ・手遊び歌伝達講習・クラス環境の見直し ・保護者との伝え合い・職員の連携について
8	・運動会打合せと下見・わらべ歌伝達・発達障がい児のカンファレンス ・グループ討議「私たちの理想のこども園とは」・巡回相談
9	・運動会打合せ・手遊び歌わらべうた伝達
10	・保育総括前期・クリスマス会について打合せ
11	・わらべうた研修
12	・巡回指導の報告
1	・もちつき大会打ち合わせ・修繕計画について・評価制度の見直しについて
2	・クラス懇談会打ち合わせ・卒園式打ち合わせ・後期総括会議
3	・フロアーリーダー会議・卒園式反省会・新年度会議・修繕計画について

6. 保護者会活動

月	実施内容
4	・保護者会役員投票選挙及び開票・クラス懇談会(5歳児)・保護者会準備委員会
5	・3歳児4歳児クラス懇談会月間
6	・3歳児4歳児クラス懇談会月間
9	・運動会手準備手伝い
10	・おやじの会奉仕活動
11	・保護者会中間報告・ひかり組クラス懇談会
2	・クラス懇談会(0, 1, 5歳児クラス)
3	・保護者会会計監査・三役会議

7. 危機管理

- ・緊急事態宣言期間と市内のコロナ発生数に応じて、保護者や業者の園内立ち入りを制限し玄関対応をおこなった。
- ・行政のコロナ対策補助金を活用し、保育室にオゾン発生装置を6台設置、その他マスクや消毒、衛生用品、非接触型体温計等を購入した。
- ・職員や保護者に対しての体温測定、手指消毒、県外への移動、感染拡大地域の人との接触等、注意喚起し行動チェックを実施した。
- ・大雨洪水特別警報や大きな地震発生に伴う保護者のお迎え要請の基準をマニュアル化し、周知に努めた。

8. 地域との連携

- ・コロナ禍において、これまで継続してきた地域との関わりが自粛された。産直センターさんとの田植え稲刈り体験、上下水道部との学習交流(出前講座)は中止。近隣農家の庄司さんとの菊摘み体験や小松園芸さんのお花屋さん体験は実施できた。幼保小との連携は実現できず不十分な結果となった。

9. 年間運営状況統計

(1) 入所状況

(人)

年齢別		月												累計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
0歳児	前年度	9	12	12	12	13	13	13	14	14	14	15	16	157
	現年度	7	12	13	13	15	16	18	18	20	20	20	20	192
1歳児	前年度	22	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	275
	現年度	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
2歳児	前年度	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
	現年度	22	22	22	22	22	22	22	22	21	20	20	19	256
3歳児	前年度	23	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	23	286
	現年度	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
4歳児	前年度	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	276
	現年度	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
5歳児	前年度	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	276
	現年度	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	276
計	前年度	124	129	129	129	130	130	130	131	131	131	132	132	1,558
	現年度	118	123	124	124	126	127	129	129	130	129	129	128	1,516
充足率 (%)	前年度	103	103	103	103	105	106	108	108	108	108	108	107	106
	現年度	98	103	103	103	105	105	107	107	108	107	107	106	105

(2) 一時預かり等事業利用状況

(人)

		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
延長	前年度	284	305	315	386	264	315	333	325	321	288	249	277	3,662
	現年度	122	108	171	192	135	180	199	168	198	169	195	213	2,050
一時 (緊急)	前年度	3	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	6
	現年度	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	4
一時 (非定型)	前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	現年度	0	0	21	19	15	20	22	19	12	27	13	15	183
支援	前年度	137	252	247	323	289	347	354	254	189	322	326	0	3,040
	現年度	0	15	57	118	165	173	226	144	114	0	87	153	1,252

(3) 育児相談事業

(件)

		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
件数	来所	0	10	14	19	20	13	24	14	10	0	12	13	149
	電話	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	合計	0	10	15	19	20	13	24	14	10	0	12	13	150

2020年度 木の実北保育園事業報告 (案)

1. 総括

今年度は新型コロナウイルスの感染予防対策に配慮しながら、新しい生活様式の下での保育となる。行事はもちろん普段の生活も昨年度と違うものとなったが、状況に合わせて「今できること」を職員、子どもたちと一緒に考えて、行うことができた。保育テーマであった「子どもをよく見て、一緒に遊んで「やりたいこと」を楽しくやろう」はコロナ禍であった今年度、職員と保育の原点に立ち返って取り組むことができたのは良かった。子どもの思いに寄り添って、子どもたちのやりたいことを大人も一緒にやりたいと思うことが子どもたちの主体的な学びと生活につながっていくことを再認識できた2020年度であった。2021年度のこども園移行に伴い、その準備期間として計画や記録の見直しや保護者への周知などは滞りなく行うことが出来た。

2. 保育実践の取り組み

(1) 0・1・2歳児の保育

- ① 0歳児は1対1の関わりをしっかりと取りながら、安心して保育園で生活できることを第一に考え保育を行っていった。2つの保育室を子どもたちの姿に合わせて使い分けながら、一人一人の発達や求める遊びに合わせて小グループで遊びや生活を保障していった。食事にこだわりのある子どもが多かったため、家庭との連携を密に取りながら子どもの思いを尊重しながら食事が楽しいと感じられるような環境作りを心掛けていった。1年間のほとんどが職員はマスクをしながらの保育となったが、わらべ歌やふれあい遊び、絵本の読み聞かせを通して、子どもたちの豊かな心の土台づくりは例年同様行うことはできたと思う。
- ② 1歳児の思いや要求に合わせた玩具提供や環境構成を担当間で話し合いながら進めてきた。自我の芽生えと共に思いのぶつかり合いの中で噛みつきなどのトラブルも多く見られていたが、玩具の数や保育室の環境を改めて考えていくことで子どもたちの遊ぶ姿に変化が見られていった。
- ③ 2歳児は、子どもたちの思いや姿に寄り添いながら、主体的に生活できるような言葉がけで「やってみよう」「やってみよう」思いを膨らませながら、生活に見通しを持って過ごせるようになった。アレルギー児が複数いるため、誤食など無いようにスペースの確保や動線の確認を担当間でしっかり行い、どの子も安全に安心して生活できるように配慮していった。

(2) 3・4・5歳児の保育

- ① 3歳児は、2階で2歳児と遊びのスペースを共有しながら過ごすため、3歳児ならではの遊びの広がりや保障ができるように保育室や2階ホールを子どもたちの興味関心に合わせて、変化させていった。子どもたちの「どうなるの?」「やってみよう」思いにタイムリーに応えながら活動をつなげていったことで、子どもたちの主体的な遊びや学びが豊かに広がっていった。
- ② 4, 5歳児は、ホールと保育室を連動させて子どもたちの遊びと生活を展開させることが定着してきている。子どもたちの求める活動ができる環境を4, 5歳児の担任間で話し合いながら設定していったことで、子どもたちも自分のやりたいことをできる場所で十分満足できるまで取り組むことができた。
- ③ 新型コロナウイルス感染予防のため、例年できていた行事や活動ができなかったが、子どもたちに「やりたいこと」を聞いて話し合い、子どもたちが「楽しいこと」を子どもたちと職員が一緒に行うことが出来た。子どもたちの思いや保育園での取り組みを保護者にも伝えることで子どもたちはどんな状況でも成長していることをともに共感する

ことができた。

(3) 行事实施状況

月	行 事
毎月	・安全点検・避難訓練・身体測定・誕生会・調理室検便
4	・第9回入園式・お花見(園内)・畑活動(中止)・役員選出
5	・畑活動(園内)・富神山登山(5歳児)中止・保護者会総会(書面審議) ・親子ピクニック(中止)・保護者会みそ作り(中止) ・個人面談(4歳児)・冷暖房切りかえ作業・内科健診・田植え(5歳児)中止
6	・職員検便・尿検査・歯科検診・かもしかクラブ・クラス懇談会(5歳児) ・個人面談(3歳児)・プール開き・保護者会役員会
7	・クラス懇談会(0.1.2歳児)・巡回相談前期・七夕祭り・かりん組お泊り保育 ・かもしかクラブ・お話し会・じゃがいも掘り(4歳児)中止
8	・夏祭り(園児のみ)・プール片づけ・個人面談・運動会会場下見
9	・運動会リハーサル・大運動会・眼科検診・さつまいも掘り(4歳児)中止 ・インターンシップ受け入れ
10	・赤い羽根共同募金活動(5歳児)中止・稲刈り(5歳児)中止・かもしかクラブ ・2021年度入所児面接(市役所)・総合訓練・冷暖房切りかえ作業 ・合同ピクニック(3,4,5歳児)・クラス懇談会(3歳児)
11	・内科健診・耳鼻科健診・かもしかクラブ・七五三 ・職員インフルエンザ予防接種・職員健康診断・お話し会・クラス懇談会(4,5歳児)
12	・かもしかクラブ・尿検査・職員検便・クリスマス会(2~5歳児)・歯科健診 ・巡回相談後期
1	・初市見学(市役所)・団子木作り・クラス懇談会(0,1,2歳児) ・卒園記念写真撮影
2	・お話し会・節分豆まき・かもしかクラブ修了式・入園説明会 ・松倉とし子さん童謡コンサート
3	・ひなまつり誕生会・新クラス会議・入園前健診・卒園式・新年度会議

(4) 食育

- ① コロナ禍で例年行っていたクッキング保育も難しくなったが、子どもたちの「これ食べれるのかな?」という疑問からカラスノエンドウを食べてみたり、雪に塩を入れると冷たくなることを知って実際にやってみたりと子どもたちのやってみたい・どうなるかなという発想にタイムリーに応えていきながら一緒に取り組んでいった。
- ② 普段食べている給食でメニュー名と実際の物が一致しない姿が見られたため、メニュー名と写真を掲示して、様々な料理の名前があることを子どもたちに知らせてきた。

月	子どもの食体験
春	ふきのすじとり 孟宗竹にふれる わらびに触れてみる カラスノエンドウを食べてみる 食事のマナーとしての「姿勢」について、 こんにゃくを使って子どもたちに話す そらまめにふれる 味噌作り
夏	とうもろこしの皮むき ピーマンとパプリカの種取り ピザ・ポテトサラダ作り モロヘイヤの葉っぱとり 夕顔に触れる 収穫した野菜でクッキング
秋	いももち作り 食物の栄養バランスについて知る 菊の花ちらし 出汁について実際に出汁(かつお・煮干し・ こんぶ)を取って風味の違いや味の変化を知る みそ汁・サツマイモサラダ作り

	ご飯が炊ける様子を見て、おにぎりにして食べる	焼き芋パーティー
冬	冬至かぼちゃの由来を知る 春の七草や納豆汁の由来を知る 雪で牛乳シャーベット作り	大豆と節分の話 リクエスト献立を三色食品群を考えて立ててみる もち米で五平餅作り

3. 一時預かり（緊急・非定型）事業の取り組み

- ・（緊急）は、兄弟の受診の都合の1歳児、入所前の慣れ保育での0歳児の受け入れを行った。
- ・（非定型）は、4月に1歳児1名、10月に0歳児1名、2月3月に3歳児1名を受け入れた。

4. 地域子育て支援拠点事業の取り組み

- ・コロナウイルスの感染状況によって、山形市より臨時閉鎖の要請が何度かあり、対応した。一度に利用できる人数を制限したり、利用者の体調確認を毎回行うなど感染防止の対策を取りながらも、利用者の思いやコロナ禍での不安に寄り添えるような関わりを心がけた。臨時閉鎖期間にもいつ開所するのかと問い合わせがあり、支援センターの重要性を改めて感じた。

月	実施状況
毎月	・身体測定・支援センター便り配布
隔月	・誕生会
4	臨時閉鎖～5月17日まで
5	・2階ホール開放
6	・2階ホール開放 ・父の日製作
7	・2階ホール開放 ・七夕製作
8	・2階ホール開放 ・紙コップロケット作り
9	・2階ホール開放 ・フォトフレーム作り（敬老の日）
10	・2階ホール開放 ・音鳴り玩具ガラガラ作り
11	・2階ホール開放 ・ままごとバック製作
12	・2階ホール開放 ・クリスマスポップアップカード作り
1	臨時閉鎖～2月14日まで
2	・ひな人形作り
3	・2階ホール開放・

5. 職員研修

- ・園内研修係りを中心に、もっと構えずに自分の思いや感じていることを話し合う研修内容を検討し実施していった。付箋を利用することで自分の思いをだしやすく、お互いに語り合えるような内容で行うことが出来たが、コロナ禍で集まる時間や回数が確保できず十分に深めることが出来なかった。
- ・経験年数1～3年の職員の研修会を定期的に行い、場面記録の書き方や子どもが主体的に生活するためにはどのような対応が望ましいかをみんな考えていくことが出来た。来年度も継続して行っていきたい。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大のため、県外の研修は控えることになったが、山形市内の研修やzoomを使った研修に参加して、学びを深めていった。

(1) 園外研修状況

月	研修名称・出席人数
毎月	・民保連園長会・主任会・看護師研修・給食研修・3歳以上児研修（5月～2月） ・支援センター連絡研修会（10・2月）・3歳未満児研修（5月～2月） *コロナウイルス感染状況により、中止またはzoomでの開催もあり。
7	・幼保小連絡会（3）
8	・キャリアアップ研修（2）・新任研修（1）
9	・養成校との連絡研修会（1）・スーパービジョン研修（1） ・キャリアアップ研修（3）
10	・発達支援基礎養成研修（1）・保育所主任保育職員研修（1）
11	・キャリアアップ研修（3）・発達支援基礎養成研修（1） ・カウンセリングゼミナール（1）
12	・カウンセリングゼミナール（1）
1	・幼保小連絡会（2）
2	・幼保小連絡会（8）・民保連総合研修（3）

(2) 園内研修及び打合せ会議の状況

月	研修・会議
毎月	・3園会議（園長・事務）・3園主任会・パート職員打合せ
毎週	・全体ミーティング・以上児ミーティング
4	・入園式打ち合わせ・カリキュラム検討会・役員準備委員会
5	・カリキュラム検討会・救急法
6	・夏祭り打合せ（職員）・お泊り保育打合せ①・お泊り保育下見 ・カリキュラム検討会
7	・お泊り保育打合せ②・職員夏祭り打合せ・研修報告会・カリキュラム検討会
8	・カリキュラム検討会・運動会会場下見打合せ
9	・職員運動会打合せ・研修報告会・カリキュラム検討会 ・研修報告会・1～3年目職員研修
10	・運動会前日準備・前期総括会議・1～3年目職員研修 ・渡邊裕子先生とのわらべうた勉強会
11	・クリスマス部会企画会議・1～3年目職員研修
12	・クリスマス会全体打合せと反省会 カリキュラム検討会・研修報告 ・渡邊裕子先生とのわらべうた勉強会・1～3年目職員研修
1	・クラス懇談会について(未満児)・1～3年目職員研修
2	・後期総括会議 ・1～3年目職員研修
3	・新年度クラス会議・新年度会議・1～3年目職員研修

6. 保護者会活動

- ・コロナウイルス感染予防のため、保護者会総会も書面審議となり、1年間を通して保護者会行事がほとんどできなかった。3役の保護者の方とは定期的に3役会を開き、園としてのコロナ対応をお知らせしながら、保護者の行事参加について検討していった。
- ・夏祭りは子どものみではあったが、有志の保護者が忍びレンジャーでオープニングを飾ってくれた。運動会、クリスマス会も園の対応にご理解いただき、大きなトラブルなく行うことが出来た。

月	実施内容
4	・役員準備委員会

5	・保護者会総会（書面審議）・親子ピクニック（クラス顔合わせ会）中止・個人面談（4歳児） ・保護者会主催講演会「親子で味噌作り」中止
6	・役員会（今後の行事について）・クラス懇談会（5歳児）・個人面談（3歳児）
7	・クラス懇談会（0, 1, 2歳児）・夏祭り（園児のみ）
9	・運動会（3, 4, 5歳児）
10	・クラス懇談会（3歳児）
11	・0, 1歳児親子ふれあい遊びの会（中止）・クラス懇談会（4, 5歳児）
12	・クリスマス会（2～5歳児）・クリスマス誕生会（サンタ登場）
1	・クラス懇談会（0～2歳児 保育園にて）
2	・3役会
3	・市保連たより発行・会計監査・かりん組卒園を祝う会

7. 危機管理

- ・新型コロナウイルスの感染拡大により、4月5月は非常事態宣言の元、登園自粛の願いもあり少ない人数で感染予防に努めながら過ごす。通常登園後も山形市の感染状況に応じて、保護者の園内の出入りを制限したり、大人のマスク着用の徹底、食事のとり方や園児のマスク着用などその都度検討し、できる最善の感染予防対策を行ってきた。保育園生活は人との関わりが大前提であり、避けることは考えられない。子どもたちの発達、成長に必要な関わりを確保しつつ少しずつ分かってきている新型コロナの情報を正しく理解し対応するよう心がけていった。感染予防のため、空間除菌のオゾン発生器や玩具消毒器など必要な備品も購入した。
- ・東日本大震災の余震といわれる大きな地震が何度かあった。保育園閉園後や、人数の少ない土曜日で地震での大きな被害は見られなかった為、園長や主任が園内外の見回りをするにとどまったが、園内に人がそろっていない早朝や夕方、土曜日、また園が閉まっている時に職員がどのように動くのかを改めて危機管理マニュアルを見直し、確認したところである。

8. 地域との連携

- ・新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、地域のふれあいサロンとの交流も秋の少しの期間のみとなった。しかし、サロンの世話役の方がサロン閉鎖中も子どもたちの絵を取り来てくれて飾ってくれたことで、つながりは継続することができた。子どもたちも地域の方に見てもらうことを意識して、季節ごとにメッセージを寄せたりしていた。地域の中の自分を意識する姿が出てきている。

9. 年間運営状況統計

(1) 入所状況

(人)

年齢別		月												累計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
0歳児	前年度	10	11	11	11	12	12	14	14	14	14	14	15	152
	現年度	7	10	9	9	11	12	13	14	14	15	17	18	149
1歳児	前年度	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
	現年度	19	20	20	20	20	19	19	19	18	18	18	18	228
2歳児	前年度	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	264
	現年度	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
3歳児	前年度	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	264
	現年度	23	23	23	23	22	22	22	21	21	21	21	21	263
4歳児	前年度	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
	現年度	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	276
5歳児	前年度	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
	現年度	24	24	24	24	24	24	24	24	25	25	25	25	292
計	前年度	122	123	123	123	124	124	126	126	126	126	126	127	1,496
	現年度	116	120	119	119	120	120	121	121	121	122	124	125	1,448
充足率 (%)	前年度	102	103	103	103	103	103	105	105	105	105	105	106	104
	現年度	97	100	99	99	100	100	101	101	101	102	103	104	101

(2) 一時預かり等事業利用状況

(人)

		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
延長	前年度	225	231	223	231	169	191	239	225	255	190	243	317	2,739
	現年度	115	137	215	190	145	169	176	187	195	177	152	216	2,074
一時 (緊急)	前年度	1	0	0	0	0	2	3	0	0	0	1	0	7
	現年度	0	0	0	1	0	11	0	0	0	0	0	0	12
一時 (非定型)	前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	現年度	0	0	0	0	0	0	21	19	19	0	18	20	97
支援	前年度	124	129	130	203	135	150	122	110	134	135	124	0	1,496
	現年度	0	27	72	124	88	121	119	114	71	0	44	115	895

(3) 育児相談事業

(件)

		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
件数	来所	0	7	23	15	14	18	14	8	9	0	6	17	131
	電話	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	0	7	23	15	14	18	14	8	9	0	6	17	131